



9月ほけんだより

令和6年9月号

矢田野こども園



夏が過ぎ、ひと回り大きく、たくましくなった子どもたち。まだまだ続く暑さの中で、元気にお散歩や外遊びを楽しんでいます。夏の疲れが出てくるころです。しっかりと睡眠をとってください。

家の中での事故を防ぎましょう

防災週間(8月30日~9月5日)

9月1日 防災の日

9月9日 救急の日

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか? 0~6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。子どもの口に入る大きさ(直径4cm未満)のものを周りに置かないようにしましょう。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。

子供の口の大きさは

約4cm

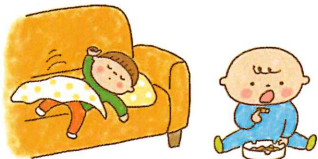


トイレトーパーの芯の直径とほぼ同じ

直径約4cm



リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離れたすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上って手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

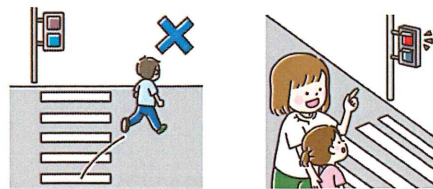
交通ルールを守って、事故を防ぎましょう

1~14歳の子どもの死亡事故で最も多いのは交通事故です。小さいころから交通マナーを伝えることが、子どもの命を守ります。

交通事故を防ぐために心がけたいこと

① 大人もルールを守りましょう

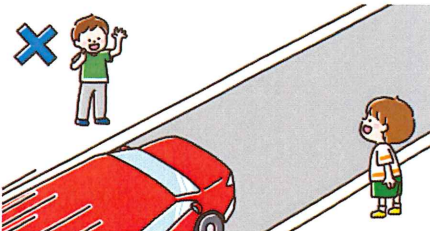
急いでいると、信号を無視したり、道路を横切ったりしたくなりますが、子どもは見ています。みんなで交通ルールを守りましょう。



② 事故を招かない工夫をプラス!

大人が、子どもの事故を防ぐことも大切です。

- 道路の反対側から子どもを呼ばない
- 後部座席はチャイルドロックをする
- 道路で遊ばせない
- チャイルドシートやシートベルトを正しく使うなど、できることはたくさんあります。



③ 駐車場も注意

事故は駐車場でも起こります。道路や駐車場など、車が多い場所では、必ず手をつないで歩く習慣をつけましょう。



④ 自転車の死亡事故も多い

自転車に乗っているときの事故も増えています。スピードを出さない、曲がり角では停止するなど、自転車のルールもしっかり伝えましょう。